

蒲刈中学校区小中一貫教育だより

令和6年11月発行

清秋の候、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、蒲刈中学校区では、小中学校の教職員が「義務教育9年間で児童生徒を育てる」という意識を共有し、児童生徒のよりよい成長・発達を目指した指導を行っています。

今年度のここまでの蒲刈中学校区の小中一貫教育の取組の一端を紹介します。

学校教育目標と研究主題等は次のとおりです。小学校・中学校の教職員が2つの部会に分かれ、部会内で両校の教職員が連携・協働しながら取組を進めています。

目指す児童生徒像 「未来を拓く児童生徒の育成」

研究主題 「学びを活かし課題解決を図る児童生徒の育成 ～授業改善と地域の学びを通して～」

「伸ばす学力」部会の取組

- 授業改善による学力向上
（「課題発見・解決学習」や「教えて考えさせる授業」の充実）【授業改善】
- 自分の思いや考えを自己表現することができる授業等【自己表現】

「育む心」部会の取組

- 「ふるさと学習」の充実【自己表現】
- 自己肯定感を向上させる異校種・異学年交流の充実【自己肯定感】

今年度の小中一貫教育の取組の一端を紹介します！

5月1日(水)小中合同遠足は雨天中止→「交流会」に



5月1日(水)の3・4校時に中学校体育館に集合し、小中合同の縦割り班ごとに集合し、交流しました。1年生の自己紹介に続き、全児童生徒でレクリエーションを楽しみました。初めて踊る「よしゃこい」には戸惑い涙ぐむ小学1年生を優しくリードする中学生の姿がありました。少しずつ慣れて一緒に踊る姿が微笑ましくもあり、頼もしくも見えました。楽しい時間になりました。



小中合同避難訓練（土砂災害を想定して実施）（5月17日（金））



児童生徒とも真剣に訓練に臨み、素早く避難をすることができました。訓練後には、地域のグループに分かれ、ハザードマップを確認しました。中学生がリードし、小学生に避難経路や避難場所を教えていました。

小中合同運動会 5月25日（土）



ご観覧いただいた皆様に大きな声援をいただいた運動会となりました。児童生徒たちは、全ての演技・競技にベストを尽くし、一生懸命プレーしていました。小中合同で演技した「よしやこい」はとても見応えがありました。



小中合同研修会【研究授業&事後協議】（中学校：6月4日（火）、 小学校：10月3日（木））

6月4日（火）には、本谷彰弘先生（呉市教育委員会 学校教育課 主査）、10月3日（木）には松浦武人先生（広島大学大学院教授 広島大学附属東雲小・中学校長）にご来校いただき、小中合同の研究授業を行いました。ご指導いただいたことを日々の授業改善につなげ、児童生徒に力を付けていきたいと考えています。



6月4日（火）
中学校 1年生 理科
「さまざまな金属の見分け方」



10月3日（木）
小学校 3・4年生 算数科
「図を使って関係を整理しよう
3年生 何倍でしょう・4年生 割合」